

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立昭栄中学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和6年4月18日(木)

■ 調査の対象学年

中学校3年生生徒

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語, 数学)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

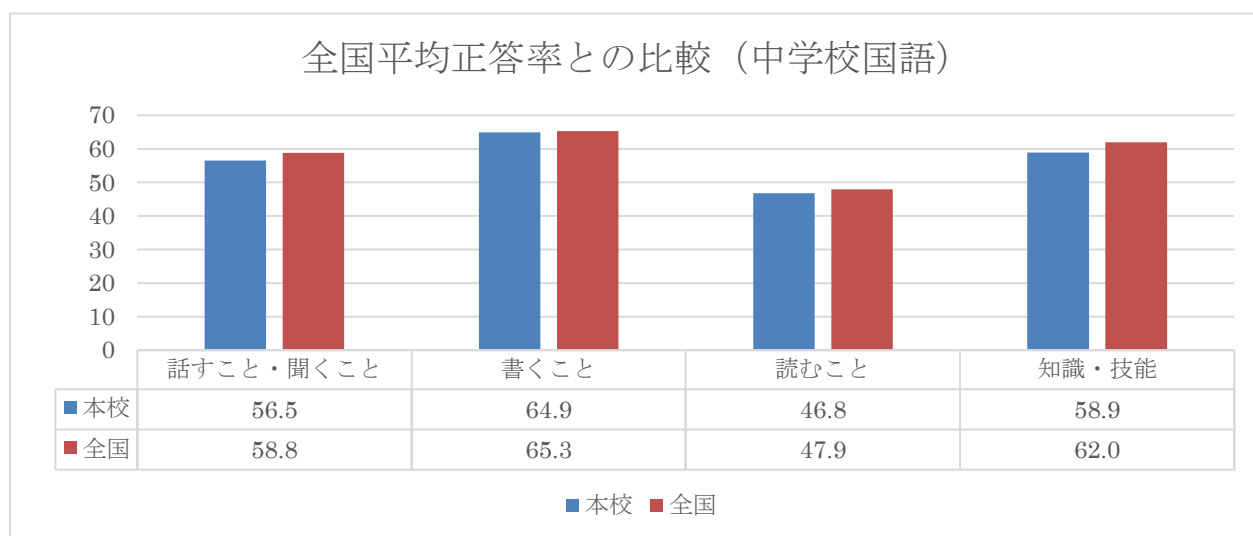
生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 学習に対する興味・関心、授業内容の理解度、 基本的な生活習慣、家庭学習の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、 学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

■ 調査結果及び考察について

全国学力・学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

■ 調査結果及び考察

1 国 語



(1) 結 果

全体では全国の前答率が58.1%だったのに対して、本校は56%とやや下回っていましたが、佐賀県の55%をわずかに超えていました。「書くこと」については、全国とあまり差がありませんが、「話すこと・聞くこと」「知識・技能」では全国と本校との差が大きくなっていました。しかし「知識・技能」の「情報の扱い方に関する事項」については、全国平均前答率を3.2ポイント上回っていました。

(2) 成果と課題

今回の調査で、「知識・技能」の中でも、「話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する」問題では、全国平均を9.2ポイント上回りました。昨年度から本校で取り組んでいる「言語活動」を意識した授業づくりの成果が表れていると考えられます。逆に「短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択する」問題では、全国平均を12.3ポイント下回りました。授業中に学習した用語の理解と定着に課題があるものと思われます。また、短答式の問題は全国平均よりも前答率が良いか全国平均並みでしたが、「記述式」の問題の前答率の低さと無回答率が多いことは課題だと考えます。生徒の前答力を高めることが、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の力を伸ばすことにつながります。単なる「知識」を問う問題ではなく、「思考力・判断力・表現力」を重視した問題が増えていく傾向にありますので、授業改善を通して、日々の授業の中で「思考力・判断力・表現力」の力を伸ばしていくことが重要であると捉えます。

(3) 学力向上のための取り組み

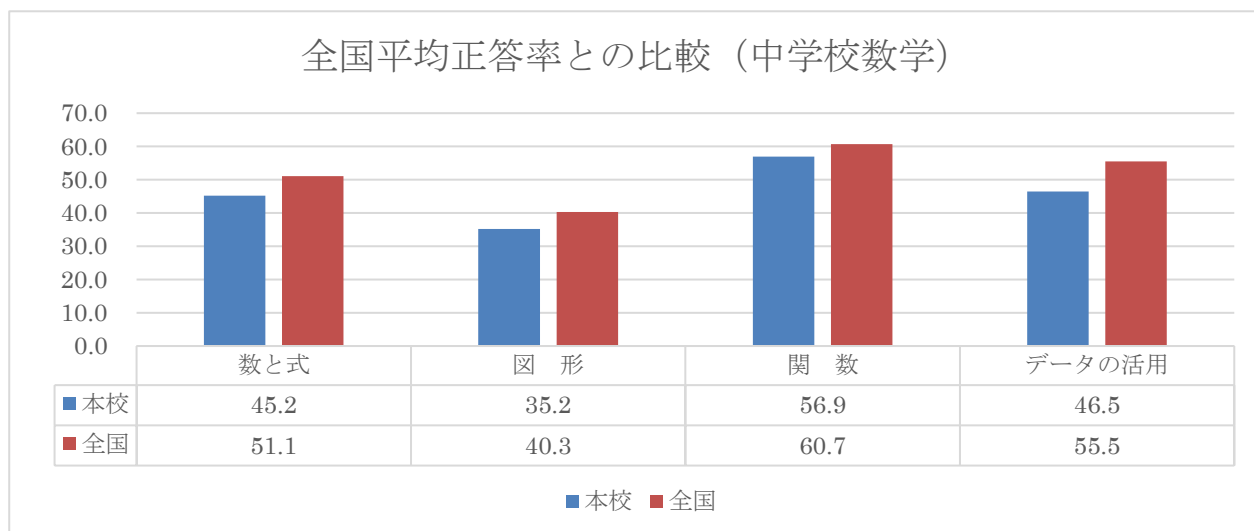
【学校では】

- お子様が主体的に学べるように、授業の在り方を工夫すること（主体的・対話的で深い学び）で、生徒同士が話し合いながら、深く学んでいけるようにします。
- 目的や意図に応じて、自分の考えとその理由を明確にしながら書く(話す)機会を増やします。
- 漢字の読み書き等の学習を続けるとともに、辞書を活用させ、語彙力を増やします。
- 我が国の言語文化に関する事項についての学習にも力を入れます。

【ご家庭では】

- その日に学んだことを確認し、積み残しを作らないように復習をさせてください。
- 宿題をきちんとさせてください。決まった時間に決まった場所で必ずする習慣をつけてください。
- 新聞や本をたくさん読ませてください。分からない言葉は調べさせてください。
- いろいろな話題でたくさん会話をしてください。

2 数学



(1) 結 果

全ての領域で全国平均正答率を下回っています。無解答率については、全領域の半数の問題で全国平均より低く、「図形」、「関数」、「データの活用」の選択式の問題では0%でした。

(2) 成果と課題

今年度は昨年度より「数と式」、「関数」の領域において、全国平均正答率との差が縮まっていました。また、「関数」領域の短答式の問題において、全国平均正答率を4ポイント上回っていました。グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈する問題で、常に何の意味かをおさえたり、表現させたり、繰り返し取り組ませたりするなどの授業改善の成果が表れていると考えられます。課題は、「データの活用」領域の確率を求める問題において正答率は50%以上ですが、全国平均正答率よりを20ポイント下回っていました。また、記述式の問題においては無解答率が20%前後と高く、自分の考えを記述することを苦手としていました。

以上のことより、これからの改善策としては、「データの活用」の領域の知識・技能面に力を入れ、解き方を友だちに教えたり、自分の考え方を記述したり、伝える活動を授業の中にさらに取り入れていく必要があると考えます。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 計算や復習問題を解かせ、既習の単元の知識・技能を振り返ることができるようにします。
- ペア学習や学び合い学習を通して、自分の考えを伝える対話活動や考えをまとめる機会を増やしていきます。
- TT少人数指導、週末課題チェック、授業で使うワークシートの工夫など、日々の指導の中で個々のつまづきを早期に見つけ、補充指導に努めます。

【ご家庭では】

- 計算能力は毎日行うことで定着につながります。そのために、毎日、たくさんの問題を解く習慣を身に付けてほしいと思います。
- その日に学習した内容をもう一度復習し、また、家族に説明する機会を設定し、知識の定着とともに、説明力向上につなげてほしいと思います。
- 継続して頑張っていたり、粘り強く取り組んで問題が解けたりしたときには、たくさん励まし、称賛の言葉をかけてください。保護者の励ましは今後の学習意欲につながっていきます。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

(1) 結 果

※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」と回答した児童(生徒)の割合。

《生活習慣・自己肯定感・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	77.1%	79.1%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	32.1%	34.9%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	52.1%	55.3%
自分にはよいところがあると思いますか。	35.7%	40.4%
将来の夢や目標を持っていますか。	37.1%	36.1%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	68.6%	68.6%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	76.4%	77.5%

規範意識については全国平均とほぼ同等です。将来の夢や目標の実現に取り組んでほしいものです。一方で就寝時刻が遅くなり、朝食を食べることができていないことが気になります。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切にしていくことはとても重要です。家庭と学校で協力して、習慣化していきましょう。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。「3時間以上」	4.3%	9.2%
「2時間以上、3時間より少ない」	15.0%	22.5%
「1時間以上、2時間より少ない」	23.6%	32.6%
「30分以上、1時間より少ない」	25.7%	18.4%
「30分より少ない」	15.7%	10.4%
「全くしない」	15.7%	6.6%

家庭学習について、1時間未満の生徒が6割以上おり、中には全く家庭学習をしていない生徒もいました。かなり個人差が見られるので、家庭学習の手引きをもとに家庭学習の意味を保護者や生徒に伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていきます。また、自分の夢や目標に向かって、計画を立てて家庭学習を行う習慣についても指導していきます。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 学校からは、各教科より一週間ぐらいのスパーンでできる課題を出しています。ほとんどの生徒が課題を提出できています。決められた課題だけでなく、自分の課題をみつけて学習にとりくむことができるように指導していきます。
- 始業前の朝の読書の推奨をしたり、テスト前は生徒会と連携を図って学習用パソコンを活用した朝自習に取り組んだりしています。これからも継続していきます。

【ご家庭では】

- まずは、規則正しい生活のリズムで生活を送ることが大切だと考えます。夜遅くまで起きてゲーム等をしている生徒もいるので11時には就寝することができるようにしてほしいと思います。
- 自分の目標や夢に向かって努力できるように、お子様が努力したことについて褒めるようにしてください。また、定期テスト前は学校で学習計画を立てるようにしていますので、その計画を参考に、自分で時間や内容を決めて学習できるように励ましてください。